

が重要と考えている。本市としては、監督指導権限を有する国や、県と連携を図りながら取り組みを進めていく。

問 民間
ふくおかさん家のうまかもん条例を活用した取り組みを

答 本市は、質の高い食文化を観光資源として、観光客を呼び込む施策を練り上げるべきである。議員提案により全会一致で可決されたふくおかさん家のうまかもん条例をもっと活用して、食を生かした他都市に見られない取り組みを進めてはどうか。

問 本市は、質の高い食文化を観光資源として、観光客を呼び込む施策を練り上げるべきである。議員提案により全会一致で可決されたふくおかさん家のうまかもん条例をもっと活用して、食を生かした他都市に見られない取り組みを進めてはどうか。

答 条例に基づき、市内産農林水産物の消費拡大や、ブランド化、6次産業化を推進するとともに、「食」を生かしながら観光・集客



うまかもん認定された市内産食材

の振興に積極的に取り組んでいる。今後、本市の「食」の魅力を発信しながら、食に関連する産業の振興にしっかりと取り組んでいく。

問 民間
集合住宅の自動車保管場所については設置ルールの見直しを

答 集合住宅の自動車保管場所は、市が条例で設置を義務付けているが、若者の車離れなどにより空きが目立つなど、自動車保管場

所や自転車・バイク置き場の設置ルールが実態に合わなくなっている。今後、どう見直しを進めていくのか。

問 民間
集合住宅における自動車保管場所や自転車、バイク置場の設置基準などの見直しについて

答 は、今後、有識者や関係団体などから意見を頂き、検討を進めるとともに、今年秋ごろをめどに規則の改正を行い、一定の周知期間の後に施行する方向で考えている。

問 民話
簀子小学校の跡地活用は地域の意見を踏まえた検討を

答 簀子小学校跡地の有効活用について、地域の意見としては、どのようなものがあり、また、どのようなスケジュールで検討に取り組んでいくのか。

問 地域住民の交流・憩いの場、防災・防犯機能の強化、市民生活が豊かになる施設や緑・潤いのある空間などが挙げられている。今年度中には跡地の活用方針を策定し、できるだけ早期に、地域および本市にとって魅力的な跡地活用となるよう取り組んでいきたい。

問 新問
博多駅前道路陥没事故に対する市長自身の謝罪を

答 陥没事故の責任は、基本的な調査が不十分なまま、設計、工法を決定した交通局にあるのに、市は受注者に責任を押し付けているのか。また、市長は道路復旧後の賞賛を受けるときは表に出て、謝罪には出てこないが、市を代表する市長から市民へおわびすべきではないか。

問 市側にも工事の発注者として責任があり、事故を起こし

たことについて大変申し訳なく思っている。損害賠償費用は受注者が全額負担し、工事再開後の安全対策等に要する費用は、適正に設計変更を行い、交通局が負担することで受注者と合意した。

問 無所属問
長住中央公園の再整備について公平かつ誠実な対応を

答 長住中央公園は、再整備について地域内で対立が深まっているが、今後、野球場以外の場所の整備で合意が整えば、部分的な着工を検討する。また、利用団体の優先利用申請について、事実確認等を行わず、地元の反対要望もないのに保留しているが意図的なのか。

問 公園の再整備については、合意の実現に向け、引き続き努力していく。また、利用団体の優先利用については、許可基準である「公園の管理上支障がない利用である」かどうかの判断ができず、保留せざるを得なかったものである。

問 無所属問
六本松地区のこれからの発展に対する市長の思いは

答 六本松の発展は目覚ましく、地域はさらなるにぎわいに期待する一方で不安も抱えている。六本松交差点付近の渋滞や、地下鉄駅周辺の駐輪対策、マンション建設に伴う地域住民との紛争などの課題に引き続き、このことから発展に対する市長の思いを問う。

問 まちの発展に伴う交通対策などの新たな課題については、地域の意見を伺いながら、関係者と協力して安全・安心なまちづくりに取り組んでいるところである。六本松地区全体で市民に親しまれる魅力あるまちづくりが実現でき

るよう、しっかりと取り組んでいく。

るよう、しっかりと取り組んでいく。

問 本問
本市施工の工事による化学物質にどう対応するのか

答 本市が施工する工事によって引き起こされる、化学物質による二次的な被害に対応できる体制が整っていないのは大きな問題である。被害防止のための新たな対策を検討することも、市として今後、どのように化学物質について対応していくかと考えているのか。

問 化学物質への対応については、労働安全衛生法、食品衛生法などの個別法に定められているほか、事業所に対し国への排出量の届出を義務付ける制度などがある。市が実施する工事においては、これらに基づき、適切な対応がなされるよう、関係各局が連携を図る。

問 市民ク
ラムサール条約について市民の理解を深める取り組みを

答 和白干潟は、地元住民の理解が得られていないとの判断で、ラムサール条約登録の前提となる特別保護地区の指定には至っていない。一方で、登録に熱心な市民の取り組みがあるのも事実で、さまざまな機会を捉え、条約について市民の理解を深めていくべきではないか。

問 和白干潟をはじめ博多湾の干潟は、渡り鳥が飛来し、多様な生き物が生まれ育つ、本市にとって重要な湿地である。干潟の保全は重要と考えており、今後も市民への啓発を充実するとともに、市民等との連携を図り、環境保全の取り組みを一層進めていく。

問 無所属問
那珂一丁目地区の浸水対策工事の進捗状況は

路があり、危険な箇所も多い。何箇所も決壊しかけて鉄柱で支えているが、何年もそのまま、台風や大雨で倒れるのではないかと心配している。早く改修して欲しいが、浸水対策工事の進捗状況を問う。

問 無所属問
雨水整備Dプランの重点地区に位置付け、東光寺第3雨水幹線の平成29年度完了を目指して整備を進めている。平成30年度からは幹線に雨水を取り込むための接続管渠の整備等の関連工事を実施することとしており、早期の供用開始を目指し取り組んでいる。

問 新問
見送られていた中国公務員の研修受け入れの今後の方針は

答 平成24年、本市は議会への説明も無く中国公務員の研修受け入れを発表したが、日中関係の緊迫化を理由に実施には至っていない。軍事転用可能な海水淡水化技術をはじめ市民は技術流出を危惧しているが、中国政府と締結し、期限が目の前に迫った覚書について、今後の方針を問う。

問 当時予定していた中国公務員の研修受け入れについては、国際貢献、国際協力の一環として取り組もうとしたものであるが、依然として尖閣諸島をめぐる緊迫した状態が続いており、覚書については期限を延長する状況にないと考える。

問 民間
本市におけるカタカナ語の表記について

答 本市の新規事業名にはよくカタカナが使われているが、事業や施設の名称は市民みんなが理解できるように市民目線で検討し、分かりやすく発信することが大切と思う。市長が目指すユニバーサル

都市は言葉の障壁を取り除かなければ実現は難しい。所見を。

問 本問
事業等の名称の検討に当たっては、覚えやすく親しみやすいものであるかなどを総合的に勘案している。名称を端緒として事業内容等について理解を深めてもらう周知に努めており、今後とも最適な媒体を活用し、分かりやすく効果的な情報発信に取り組んでいく。

問 本問
協議なく行われた議会議務局長人事は議長職権の侵害では

答 議会は執行部とは独立した機関であり、局長以下、議会議務局職員の任免権は議長にあるが、4月の局長人事は、議長と協議がなされないまま決まったと聞いている。これは市長が議長の職権を侵害し、地方自治における二元代表制を否定するものではないか。

問 議会議務局職員の人事異動は、任命権者としての準備行為等があることから、従来から協議を行っており、今回も議長の了解を得ている。また、事務局職員の配置は、市全体の人事管理の中で行っており、異動や残留、人選の意味合いでの協議は行っていない。

このほかの主な質問

- 介護人材の資格について
- 学校給食における市内産水産物の利用促進について
- 「活力ある福岡空港」づくり基金条例案の再議における審査で第3委員会に市長が出席しなかった件について
- 防犯カメラによる公園等の防犯対策の強化について
- 消費生活相談業務の委託について
- 北朝鮮による弾道ミサイル発射を想定した避難訓練について
- 防災先進都市福岡の実現に向けた取り組みについて
- 玄海原発の再稼働問題について